

令和3年度（2021年度）八王子市立中学校・義務教育学校（後期課程）使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 英語（1/1枚目）

調査の観点	発行者名	東京書籍	開隆堂出版	三省堂	教育出版	光村図書出版	新興出版社啓林館
<p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方 (2)生徒の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方 ・概要をとらえ、詳細を押さえ、活用場面、目的、状況を把握し、表現につなげるという構成となっている。 (2)生徒の発達段階に対する配慮 ・身近な話題から社会的なものを取り上げている。各課の後に、話し合い・発表・書くことなど自分の言葉で発信する活動を配置している。</p>	<p>(1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方 ・各課は新しい表現の導入、簡単な活動で理解した後、まとまりのある文の理解、自己表現で構成している。 (2)生徒の発達段階に対する配慮 ・身近な話題から周りの世界へと、視野が広がっていく内容で構成している。歴史、社会、国際問題など扱う話題も幅広い。</p>	<p>(1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方 ・基本的なパターンプラクティスを行うことで、技能を身に付けさせ、自己表現につなげるように構成している。 (2)生徒の発達段階に対する配慮 ・社会的話題や外国語の背景になる文化に対する理解を深めるための教材が豊富である。</p>	<p>(1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方 ・各課の本文の中で言語の働き等を理解し言語活動を行い、Projectの中で積み上げた知識や技能を活用した自己表現力へと繋がられるように構成している。 (2)生徒の発達段階に対する配慮 ・身近な話題から社会的なものまでを取り上げている。</p>	<p>(1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方 ・言語の働きなどの知識を学び、ペアやグループ活動で繰り返し習得、その表現を活用することで深い学びを促すように構成している。 ・多彩な内容のまとまった十分な英文量で構成している。 (2)生徒の発達段階に対する配慮 ・身近な生活から自分の地域や日本、そして世界に目を向けていくという内容となっている。</p>	<p>(1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方 ・各課に内容に関連した自己表現の活動がある。使用されている言語材料は、基本的に使用頻度が高い語がで行われるように工夫している。 (2)生徒の発達段階に対する配慮 ・身近な生活から社会的・国際的な問題に目を向けていくという内容となっている。</p>	
<p>2 構成上の工夫 (1)重点調査項目 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)構成・分量等、生徒の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて ・各課の最後のCHECK欄で、CAN-DOリストの目標に到達したかを確認できる。 ・「Small Talk」の中で即興でやりとりした発表する力を育成できる。会話を続けるための便利な表現も参考になる。 (2)構成・分量等 ・各課の「Preview」で言語材料の目的や場面、状況を動画で確認できる。課ごとの分量も適切である。</p>	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて ・各課の最初に、多様な考えを基に深め合うための質問を設けている。 (2)構成・分量等 各課「Scenes→Think→Retell→Interact」と、個人学習から共同学習へと段階的に進むような構成となっている。絵を見ながら本文の内容を再現して伝える「Retell」や巻末のカード等を用いた「Interact」で即興でのやり取りや発表の能力を育成できる。課ごとの分量も適切である。</p>	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて ・各課の「USE Read」に、多様な考えを基に深め合うための課題が設けられている。 ・付録の「会話表現」「ロールプレイシート」を利用して、即興でのやりとりの能力を育成することができる。 (2)構成・分量等 ・各課の冒頭に関連した写真と問いがあり、生徒が自発的に考え、発問することができる。課ごとの分量も適切である。</p>	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて ・スピーチ、ペアでの活動を通し、発表や即興でのやりとりの能力を育成し、総合的に活用した共同学習を行う「Project」を設けている。 ・「Tips」の中で5領域の運用に役に立つルールやコツを学ぶことができる。 (2)構成・分量等 各課は「聞く→読む→話す」という順になっており、各パート内で身に付ける技能が絞られて、課ごとの分量も適切である。</p>	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて ・各課の初めに、対話によって多様な考えを基に深め合うための課題を設けている。 ・絵を見ながら本文の内容を再現する巻末の「Story Retelling」や帯教材の「Let's Talk」で即興でのやり取りの能力、発信の語彙を増やすことができる。 (2)構成・分量等 ・各課のはじめに目標となる技能が明記され、各学年の教育活動（職場体験、合唱コンクール等）に関連付けたストーリー仕立てである。課ごとの分量も適切である。</p>	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて ・各課の本文読解や表現の習熟を図った後、学んだことを活用した長めの英文読解や多様な考えを基に深める自分の意見や考えを表現する活動を設けている。 ・「Express Yourself」でスピーチを作成する等、発表の能力を高めることができる。 (2)構成・分量等 ・スモールステップを踏みながら着実に身に付け、無理なく表現できるようになっている。課ごとの分量も適切である。</p>	
<p>3 情報活用能力の育成に関する配慮をしているか。 (1)生徒の情報活用能力を育む構成となっているか。 (2)生徒一人一人がコンピュータを活用できる工夫がされているか。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成 ・情報技術の活用の仕方やグラフやデータから情報を読みとり、そこから関連する情報をインターネット等を使って調べ、深く考えた上で自分の意見を発表できるような工夫が見られる。 (2)コンピュータ活用の工夫 ・QRコードから、本文や語句の音声、関連する文法解説動画にアクセスできる。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成 ・メールのやりとりのマナー、ホームページ作成など、身近なテーマで情報活用能力を育成する工夫が見られる。 (2)コンピュータ活用の工夫 ・QRコードから、本文や語句の音声、文法解説動画にアクセスできる。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成 ・データやグラフから情報を読み取る力を付ける内容、動画作成、ネットショッピングをする、SNSに投稿するなど、多岐にわたる情報活用能力を育成する内容を取り入れている。 (2)コンピュータ活用の工夫 ・QRコードから、本文、語句の音声、話す活動のモデル動画、学びを深めるためのコンテンツにアクセスできる。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成 ・グラフやメールから情報を読み取る力を身に付け、さらにニュース動画の実況中継やCM作成をするなど、情報活用能力を育成し、自分の考えを発信する工夫が見られる。 (2)コンピュータ活用の工夫 ・QRコードから、「まなびリンク」にアクセスでき、本文やactivity Plusの音声、動画、読み物、関連サイトが利用できる。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成 ・ウェブサイトの情報の読み取りや、メールのやりとり、世界の中での絵文字、AI技術による翻訳機等、情報活用能力に関わる内容を取り入れている。 (2)コンピュータ活用の工夫 ・QRコードから、アニメ、リスニング音声、会話動画にアクセスすることができる。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成 ・英語でのメールのマナー、ルールの説明やホームページ上の学校紹介の作成など、情報活用能力を育成する内容を取り入れている。 (2)コンピュータ活用の工夫 ・QRコードから、本文や語句の音声や画像を聞いたり、意味を確認したりすることができる。</p>	
<p>4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。 (2)生徒にとって、読みやすい表現であるか。 (3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)教員にとっての使いやすさ ・多くの活動を通して習得できる構成となっているため、授業の流れが作りやすい。 (2)生徒にとっての使いやすさ ・興味をもてる話題や日常のあらゆる生活場面の中で目標とする表現を習得できる。また目的、場面、状況をイメージできるイラストや写真を多く配置している。 ・A4サイズで他社よりサイズが大きいので記入するスペースが広い。 (3)地域性 ・自分の住んでいる地域のお気に入りの場所、日本文化を紹介する活動を取り入れている。</p>	<p>(1)教員にとっての使いやすさ ・ページごとに生徒にどのような力を育成すべきか、どのような活動を行うべきかが明確である。 ・新出表現の導入が2コマ漫画であり、イラストや音声を頼りに内容を理解することができる。 (2)生徒にとっての使いやすさ ・日常生活から国際的な話題の中で表現を習得できる。また目的、場面、状況をイメージできるイラストや写真を多く配置している。 (3)地域性 ・自分の住んでいる地域や日本文化を紹介する活動を取り入れている。</p>	<p>(1)教員にとっての使いやすさ ・各課が知識・技能を習得するGETと思考力・判断力・表現力を育成するUSEに分かれ、育成すべき能力が明確である。 (2)生徒にとっての使いやすさ ・日常生活から時事的な話題の中で表現を習得することができる。また目的、場面、状況をイメージできるイラストを多く配置している。 ・見開き左側に本文、右側にListen、Speak、Writeと分かれていて、分かりやすい。 (3)地域性 ・地域イベント、ボランティア活動といった地域貢献活動について取り上げている。</p>	<p>(1)教員にとっての使いやすさ ・見開き1ページで4技能を扱っており、効率よく授業を展開することができる。 ・各課のまとめがReview、Task、Grammarに分かれ、ポイントを押さえて振り返りができる。 (2)生徒にとっての使いやすさ ・世界の文化や国際的な問題、身近な話題を表現を習得することができる。また、場面をイメージできるイラストや写真も多く配置している。 ・巻末に赤シートを使って即興でのやり取りを高めるActivities Plusとカードが付いている。 (3)地域性 ・日本の文化を紹介する活動を取り上げている。</p>	<p>(1)教員にとっての使いやすさ ・各ページにねらいが設定、それに合わせた4技能に係る活動が充実し指導がしやすい。 (2)生徒にとっての使いやすさ ・学校の行事や日常生活、国際理解、社会問題など関心のもてる話題を扱っている。また目的、場面、状況をイメージできるイラストを多く配置している。 ・イラストの色が濃くなく、紙面が見やすい。 (3)地域性 ・日本と外国の文化が比較できる取り組み、海外姉妹校生への学校紹介、わが町の観光プランを作成する活動を取り上げている。</p>	<p>(1)教員にとっての使いやすさ ・各課の中で基礎から発展的な内容を指導することができる。 ・各パート見開き2時間で進められるゆとりある分量になっている。 (2)生徒にとっての使いやすさ ・実際の出来事や実在の人物や身近な出来事を取り扱い、関連した写真や図を多く配置している。 ・日本語の説明が多く分かりやすい。 (3)地域性 ・自分の学校や町を紹介する活動を取り上げている。</p>	
<p>5 その他</p>	<p>(1)SDGs(持続可能な開発目標)について ・各学年にバランスよくSDGsに関連した題材を配置、第3学年の裏表紙に記号を記載している。 (2)オリンピック・パラリンピックについて ・パラリンピック、車いすテニスを取り上げている。</p>	<p>(1)SDGs(持続可能な開発目標)について ・各学年にバランスよくSDGsに関連した題材を配置している。 (2)オリンピック・パラリンピックについて ・オリンピック・パラリンピック競技を取り上げている。</p>	<p>(1)SDGs(持続可能な開発目標)について ・各学年にバランスよくSDGsに関連した題材を配置している。 (2)オリンピック・パラリンピックについて ・車いすバスケットボールを取り上げている。</p>	<p>(1)SDGs(持続可能な開発目標)について ・各学年にバランスよくSDGsに関連した題材を配置している。 (2)オリンピック・パラリンピックについて ・オリンピック・パラリンピックの選手を取り上げている。</p>	<p>(1)SDGs(持続可能な開発目標)について ・各学年の目標に沿ってSDGsと関連した題材を配置している。 (2)オリンピック・パラリンピックについて ・フィギュアスケートの選手、東京オリンピックの選手を取り上げている。</p>	<p>(1)SDGs(持続可能な開発目標)について ・各学年にバランスよくSDGsに関連した題材を配置している。 (2)オリンピック・パラリンピックについて ・第1回近代オリンピックを取り上げている。</p>	